# 天国に入る準備ができましたか?

本文:ルカによる福音書13章22-30節

2022年5月22日　福岡中央教会 主日礼拝　説教:辛治善牧師

　ハレルヤ！主の御名で皆さんを愛します。入試シーズンになると緊張しながら受験生たちを励ますのが日本と韓国の入試シーズンの風景です。大学に入るのがそんなに易しくないからです。大学は合格のために何度も挑戦が可能です。しかし天国に入ることは少し違います。この地で生きている時には数千回の機会がありますが、死んでからは一度の機会しかないからです。人々はこの地で自分の人生がいつ終わり、自分はいつ神様の審判台の御前に立つのかよく分かりません。最近、韓国で有名な女優1人がこの世を去りました。　日本では2019年-2022年の間に有名な芸能人たちの中で自殺で人生を終えた人々が18人もいます。このように私たちは健康に見えてもいつあの世に行くか誰も分かりません。皆さんは神様の御前に帰られる準備ができましたか？　おそらくここにいらっしゃる方々の中で神様の御前に帰られようと準備をしている方は誰もいらっしゃらないでしょう。今日は私たちが帰るあの世を考えながら<天国に入る準備ができましたか?>という題目で共に主の恵みを分かち合いたいと思います。

第一、天国は入ることを求めても入れない人が多いです。

　皆さん!まず皆さんは私たちがこの地で生きていて死んだら天国や地獄へ行くことになるという事実から心で受け入れてください。日本に住んでいる方々の中には、死んだら誰でも天国へ行くと思っている方々が多いです。しかし、絶対にそうではありません。天国はイエス様を自分の主人として仕えて生きる人だけが入ることができます。ところが、多くの人々が天国に入ることができない理由の中で一つは、おそらく私たちに死が突然近づいてくるためでしょう。人の寿命と死の時間は人毎に全部違います。したがって、私たちはいつ死んでも天国に行けるように信仰を持って生きて、また瞬間瞬間、自分の人生を振り返り、主の審判台の御前に立つ心で悔い改めの祈りをしながら生きなければなりません。皆さんにお勧めいたします。人は誰も自分の死ぬ時を知りません。申し訳ありませんが、今から皆さんの死を準備してください。天国に入る準備をしてください。マタイによる福音書7章21節はこのように仰います。「私に向かって、"主よ、主

よ"と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。(マタイ7:21)」この御言葉を覚え、天国を準備される皆様になることを主の御名で祝福いたします。

第二、天国の門は一度閉まると開かれません。

本文25節は、一度閉った天国の門は再び開かないということを言います。すべての人に人生の時間は同じではありませんが、自分が生きている時に天国に入る準備をしなければならないということは誰もが同じです。そして私たちが死ぬ瞬間、神様を畏敬しながら信仰によって生きてきた人には天国の門が開かれ、主が嬉しく私たちを迎えて下さるでしょう。しかし、私たちが死を迎えた後、私たち自身が到着したところが地獄なら、私たちに永遠に天国の門はこれ以上開かないでしょう。私たちはこの事実を恐ろしい心で受け入れなければなりません。

韓国で軍隊に行ってきた人なら、新兵訓練所がどんな所なのかよく分かるでしょう。訓練所に入った人は、いくら荒い性格を持っていても従順にならざるを得ません。言葉を聞かないと、もっとひどい痛みが待っているからです。しかし、軍隊と地獄の根本的に違うことがあります。 軍隊は苦労しても決まった期間だけ過したら除隊します。しかし、地獄は苦しくても逃げ場がありません。また、地獄の時間は永遠だということを私たちは深刻に受け入れなければなりません。神様が聖書の御言葉と教会、牧師たちをくださった理由は、自分の救いをあらかじめ準備して天国の門が開かれている時、その門から入って来なさいという意味です。天国の門は狭い門ですが、その門がまだ私たちに開かれていることを考えながら、自分を再び振り返ってみてください。皆さん!一度閉った天国の門はもう開きません。これを胸に刻んで今日も命の主を見つめる事を主の御名でお願い申し上げます。

第三、天国に入ることができなかった者たちが神様にどんな言い訳をしても通じないということを悟ってください。

本文26節以下の御言葉は天国に入ることができなかった人々が言い訳をする姿を見せてくれます。しかし、いかなる言い訳も通じなくて結局彼らは追い出されて悲しく泣きながら歯ぎしりをするとイエス様は仰います。最も残念なのは、この地で神様を信じていたが、天国に入ることができなかった人たちだと思います。マタイによる福音書7章22、23

節はこのように言います。「かの日には、大勢の者が私に、"主よ、主よ、私たちは御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡をいろいろ行ったではありませんか"と言うであろう。/その時、私はきっぱりという言おう。"あなたたちのことは全然知らない。不法を働く者ども、わたしから離れ去れ。"(マタイ7:22、23)」皆さん、本当に恐ろしい御言葉です。神様を信じる人々の中に地獄に行く牧師や聖徒たちもかなりいるでしょう。これは私の話ではなく聖書がこのように仰っているからです。神様の御言葉を宣布する牧師も例外ではありません。そのため、私たちは神様を信じながらも謙遜し、目覚めなければなりません。私たちがあの世に行って色々な理由で真実に信じなかったと弁明しても絶対に変わることがないということをもう一度覚えてください。

お話をまとめます。 愛する皆さん！ この世に来る時は順番がありますが、帰る時は順番がありません。 天国に入ることを求めても入れない人が多いということを覚えてください。天国の門は一度閉まると開かれません。私たちが死んだ後は、いかなる言い訳も通じないということに気づき、今、主の御前で謙遜に生きてください。今が私たちが天国を準備する最も良い時だということを記憶され、真実な心で神様を信じる皆様になられることを主の御名で祝福いたします。

終わり。